



● 病院の概要



病床数	一般 … 346 床	療養 … 0 床
	結核 … 0 床	精神 … 0 床
1日平均外来患者数	865 人	医師数(常勤)
1日平均入院患者数	241 人	指導医数(再掲)

● 妊娠・出産・子育て中の勤務環境

■妊娠出産	■育児	■子育て
当直 免除 ○ 勤務免除 ○	時間外 ○ 勤務制度 ○	短時間 ○ 勤務免除 ○ 短時間 ○ 勤務制度 ○

※「○」は「診療科による」等の条件あり、「-」は制度なし

● 臨床研修

■2023年度研修受入数	1年目 7名	2年目 7名
■待遇 ①基本給	1年目 365,000 円/月	
	2年目 405,000 円/月	
②賞与・手当	賞与年2回(1年:53万/年、2年:120万円/年)・交通費	
③当直	回数 3~4 回/月	
	当直料 約 130,000~220,000 円/月	
④休暇	土日祝、年休、フレックス、年末年始、産休、育休 他	
⑤保険適用	各種保険あり	
⑥宿舎	なし	
■出願期間(予定)	2024年5月末	～ 2024年7月31日

【臨床研修の特徴】

- 充実したプログラムと多彩で豊富な症例、病院の温かい雰囲気が魅力です。
- 当院は市内外から1日に約900人の外来患者と、救急車台数も年間5,000台前後を受け入れており、幅広い様々な疾患・病態や背景をお持ちの患者さんが来院され、common diseaseから専門的な症例まで幅広い疾患が経験できます。自ら気付いて動く積極的な診療参加により手術等の経験の幅が拓がります。
- 当直は1・2年次が一人ずつペアになり先輩医師5~6名と一緒にします。プライマリ・ケアから重症まで多くの症例を診る機会がありますが、上級医に相談できるので安心して取り組んでいただけます。このような研修を通して2年次では、「応需判断から治療方針まで中心となって考える」というところまで主体的な診療が行えるようになります。
- 働き方改革「A水準」の中で研修時間を最大限に有効利用し、最大・最高の診療経験、研修を行って下さい。

【病院の特徴】

千葉市近郊の急性期医療を担う民間の中規模総合病院(22診療科346床)です。千葉県の救急基幹センターにも指定され、約60年間、地域に根付いた医療提供に取り組み続けています。駅に近くJR京葉線1本で東京にも出られ、勤務にも生活にも便利な立地です。

【プログラム責任者・指導医からのメッセージ】

この2年間は、進路希望以外の科も含め全体的に関わることのできる大切な時間です。積極的に関わり豊富で多彩な症例数を経験して頂き、そしてチームの中心となり活躍出来るような人間力も磨き上げ、のびのびと成長していくことを望みます。

また、私たちは「変化」を恐れずに、研修医の声に耳を傾けより良い研修環境にしていきたい、と考えています。

仲の良い和やかな当院の研修医たちの様子を、是非、見にいらしてください!

【先輩研修医からのメッセージ】

先輩研修医は学生の味方。聞きにくいかなど思うことも何でも、皆さんの"知りたい"に応えます。実見学で先輩研修医とたくさん話すことが、入職後のミスマッチを減らす秘訣だと思います。

10年前に新築された病院はきれいで広い研修医室もあります。独立した研修医だけの部屋なので、少な過ぎず多過ぎない仲間たちとしっかりとリラックスできるのもポイントです。職員食堂も安く美味しいですよ!お待ちしています。

直接、話そうよ!!

● 専門研修

■ 基幹となっている基本領域

内科 ○	小児 ○	皮膚 ○	精神 ○	外科 ○	整形 ○	産婦 ○
眼科 ○	耳鼻 ○	泌尿 ○	脳外 ○	放射 ○	麻酔 ○	病理 ○
臨検 ○	救急 ○	形成 ○	リハ ○	総診 ○		

■ 処遇 ①給与モデル(5年目参考・当直料込) 当院規定による

- ②休日休暇 曜日+他1日、年休、フレックス、産休、育休 他
- ③保険適用 各種保険あり
- ④宿舎 なし

■ 連携施設となっている基本領域

内科 ○	小児 ○	皮膚 ○	精神 ○	外科 ○	整形 ○	産婦 ○
眼科 ○	耳鼻 ○	泌尿 ○	脳外 ○	放射 ○	麻酔 ○	病理 ○
臨検 ○	救急 ○	形成 ○	リハ ○	総診 ○		

【専門研修の特徴】

- 麻酔科: 2024年度から「教育の充実と人生の安定」を大切にしたプログラム再開! 多種多様な麻酔症例が研修できスペシャリストに学べる旬の心臓麻酔でスキルアップし続ける当院で研鑽を積み、これからご自身の生活とご家族を守っていかれる先生方の生活基盤の安定を、フラットな医局と一緒に考えていきませんか? ペインクリニックの指導も行います。
- 整形外科: スポーツ整形、肩・肘関節、膝・足関節、脊椎、手外科、人工関節など多くの専門領域に特化した医師による専門性の高い治療を経験できます。スポーツ医学センターは日本代表クラスから学生など幅広い方々のスポーツ復帰を、脊椎内視鏡センターではFEESなど低侵襲手術を取り入れた早期社会復帰を目指しています。
- 内科系: 2025年度基幹型内科専門研修プログラム申請に向け準備中。内科系専門診療科は千葉大等の連携施設として多くの後期研修医が活躍しています。